

木津川上流部大規模水害・土砂災害に関する減災対策協議会
第 16 回 減災対策協議会

日付：令和 6 年 4 月 30 日（火）時間：16:00～17:00

場所：名張産業振興センター アスピア

【出席者】

＜木津川上流部大規模・土砂災害に関する減災協議会 構成員＞

（水防法第 15 条の 9、第 15 条の 10 に基づく）

津市	津市長（代理）
名張市	名張市長
伊賀市	伊賀市長
笠置町	笠置町長（代理）
南山城村	南山城村長（代理）
宇陀市	宇陀市長
山添村	山添村長
曾爾村	曾爾村長
御杖村	御杖村長
三重県	伊賀建設事務所長（代理）
三重県	伊賀地域防災総合事務所（代理）
三重県	津建設事務所長
三重県	津地域防災総合事務所長（代理）
京都府	山城南土木事務所長
奈良県	奈良土木事務所長（代理）
奈良県	宇陀土木事務所長
木津川ダム	総合管理所長
津地方気象台	台長
奈良地方気象台	台長
淀川ダム	統合管理事務所長
木津川上流河川	事務所長
紀伊山系砂防	事務所長

1. 開会

- ・名張市長より挨拶
 - 昨日能登半島の現地視察に行った際に、現地の厳しい被災状況を拝見した。輪島市では橋梁が道路に対して高くなっていて、道路の補修工事などが行われており、ハード面の対策の必要性を感じている。
 - 避難所でうかがったところ、1回目の地震の後、2回目の地震が発生した際に自宅に戻った方が被害に遭われたとうかがい、ソフト面においても避難方法など日頃からの訓練が重要であると改めて感じている。名張市では令和5年にマイ・タイムライン講習会を開催し、防災意識を高めることができた。
 - 本日の減災対策協議会では情報を共有させていただきながら、住民とともに災害対策を進めてまいりたい。

2. 会長及び副会長の選任

- ・会長および副会長が以下の通り、選任された。
 - 会長：宇陀市長 金剛 一智
 - 副会長：南山城村長 平沼 和彦
- ・宇陀市長より挨拶
 - 木津川上流直轄改修促進期成同盟会と木津川上流砂防事業促進協議会、これらと一体としてこの減災対策協議会の会長としての責務を果たしてまいりたい。皆様方のご協力をいただき、会長の職を務めさせていただきたい。どうぞよろしくお願い申し上げます。

3. 議事

(1) 減災対策協議会規約、規程の一部改訂について

- ・木津川上流部大規模水害・土砂災害に関する減災対策協議会の規約、規程における改訂内容(会長、副会長の選出、幹事会ブロック長、副ブロック長の選出)について、事務局から説明を行った。本文に変更はなし。
- ・出席者から異議はなく、規約、規程の一部改訂は承認された。

(2) 構成機関の取組について

- ・事務局から令和5年度の水害・土砂災害対応、流域タイムラインの修正、「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく木津川上流部の取組方針における令和5年度の取組について報告した。
- ・各機関から質問・意見なし。

(3) 今後の取組について

- ・事務局より、今後の予定の全体の流れ、まるごとまちごとハザードマップの整備、マイ・タイムライン、マイ防災マップの作成促進、重要水防箇所の点検について説明を行った。
- ・各機関から質問・意見なし。

(4) 構成機関からの情報提供等

- ・奈良地方気象台より、線状降水帯の予測精度向上に向けた取組(情報改善の深化)について説明を行った。
- ・各機関から出された質問・意見は以下のとおりである。
 - 府県単位で線状降水帯の予測が運用されるとのことだが、伊賀地方では奈良県側の気象状況の影響を大きく受けるため、同じ三重県内の気象情報より奈良県側の情報が必要である。対応についてこの場ではお答えが出ないと思うが、こうした状況であることを認識・共有し、各所管やマスコミに対して改善を求めていくことが重要であると考えた上での意見である。(伊賀市)

4. 閉会

- ・ 木津川上流河川事務所長より挨拶
 - これから出水期を迎えるにあたり、昨年度の取組や今後の予定について有用な状況共有や意見交換ができ、ますます連携を図っていきたい。
 - 「資料 4-2 水害リスク情報の活用促進」では、様々な水害リスク情報の説明のほか、水害リスクマップの解説動画も紹介しているので、企業や住民を含めた流域全体の関係者の水害リスクの自分事化の推進にご活用いただきたい。
 - 事務所としては、今後の取組としてまるごとまちごとハザードマップの整備やマイ・タイムライン作成促進をはじめとした取組について、構成員の皆様と連携して進めてまいりたい。

以 上